

令和5年度 下野市決算

令和5年度の決算がまとまり、9月の市議会定例会で承認されましたので、お知らせします。

● 一般会計の決算規模と収支

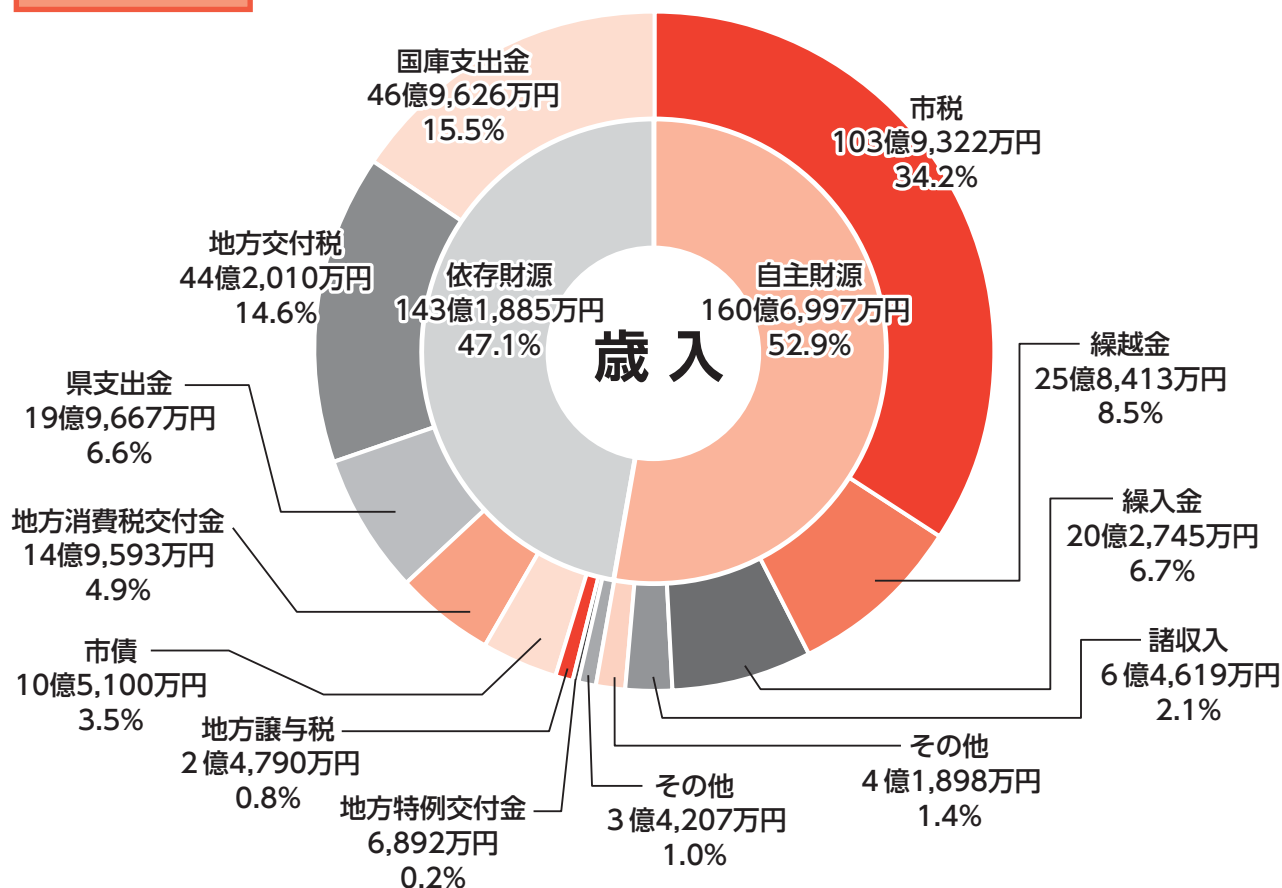
令和5年度の一般会計、特別会計及び水道・下水道事業会計を合わせた決算額は、歳入総額462億7,158万円、歳出総額436億12万円となりました。

一般会計については、歳入総額が303億8,882万円、歳出総額が277億7,521万円で、前年度と比べて、歳入が7,837万円、0.3%減少し、歳出も1億785万円、0.4%減少し、歳入と歳出の差引額は、26億1,361万円となりました。

● 一般会計

歳入の状況

303億8,882万円



市税収入の増加

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中で、ゆるやかな持ち直しが続いていることから前年度に比べて1億3,879万円、1.4%の増となりました。また、市税全体の徴収率は97.9%で、前年度に比べて0.1%の減となりました。

地方交付税の減少

普通交付税は、前年度に比べて1億1,886万円減の38億1,539万円となりました。特別交付税は前年度に比べて3,149万円増の6億471万円となりました。地方交付税全体では、前年度に比べて8,759万円、1.9%の減となりました。

国庫支出金の減少

コロナ対策として実施した子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の補助金や、石橋複合施設整備事業に係る都市構造再編集中支援事業補助金の減により、前年度に比べて3億7,730万円、7.4%の減となりました。

繰入金の増加

財政調整基金等の基金からの繰入金が増えたことにより、前年度に比べて1億4,438万円、7.7%の増となりました。

繰越金の減少

前年度繰越金(令和4年度から令和5年度への繰越金)が前年度に比べて1億6,974万円、6.2%の減となりました。

市債の減少

公共事業等債や臨時財政対策債等の減により、前年度に比べて3,820万円、3.5%の減となりました。

